

本院 5 階新病棟で嚥下評価を受けられた

患者さん・ご家族の皆様へ

～平成 28 年 9 月 15 日から平成 29 年 3 月 31 日までに嚥下評価を受けられた

患者さん・ご家族へのお願い～

研究課題名：

摂食嚥下障害患者へのスクリーニングの導入と摂食嚥下機能評価に関する研究

【研究の目的について】

本院 5 階新病棟では、神経筋疾患や頭頸部領域の疾患・治療により、誤嚥(食べたり飲んだりしようとした時に、飲食物が食道ではなく気管に入ってしまうこと)や窒息の危険性があると考えられる患者さんが多くいます。病棟の看護師は、誤嚥・窒息予防に日々努めていますが、入院する患者さんに、さらに効果的で根拠のある看護を提供するための方法を検討しています。

今回の研究では、誤嚥・窒息を起こしやすい患者さんに対して、本院で実施している取り組みの効果についての評価をするため、ご自身の病気、予定されている治療、治療に伴う副作用、認知機能、患者さんの飲み込みにくさの自覚症状などの情報を、診療録(カルテ)より収集します。

この研究により、誤嚥・窒息トラブルを起こしやすいと考えられる患者さんを予測し、患者さんにあった看護を行うことができると考えられます。この結果は、誤嚥・窒息を減少させるための資料となります。

【使用させていただくデータ等について】

この研究のために、診療録(カルテ)より収集した患者さんの情報は、この研究にのみ応用させていただきます。なお、診療録(カルテ)を使用させていただくことは大分大学医学部倫理委員会において外部委員も交えて厳正に審議され、承認がされています。また、患者さんのデータおよび診療情報は、国の定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従い、匿名化したうえで管理をします。患者さんのプライバシーは厳密に守られます。当然のことながら、個人情報保護法などの法律を遵守いたします。

【使用させていただくデータの保存等について】

使用させていただいたデータの保存は論文発表後 10 年を基本としており、保存期間終了後はデータをシュレッダーの処理をします。ただし、研究の進展によってさらなる研究の必要性が生じた場合は 10 年を超えて保存させていただきます。

【患者さんの費用負担等について】

本研究を実施するに当たって、患者さんの費用負担はありません。

【研究資金】

本研究においては、研究資金は発生いたしません。費用が発生した場合は大分大学医学部附属病院看護部受託事業費を使用します。そのため、患者さんの費用負担はありません。

【利益相反について】

この研究は、上記の公的な資金を用いて行われ、特定の企業からの資金は一切使いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人を含みますが、本研究ではこの「利益相反(資金提供者の意向が研究に影響すること)」は発生しません。

【研究の参加等について】

本研究に参加するかしないかは患者さんご自身の自由です。従いまして、本研究に患者さんの診療録(カルテ)のデータを使用してほしい場合は、遠慮なくお知らせください。その場合は、患者さんのデータは研究対象から除外いたします。また、ご協力いただけない場合でも、患者さんの不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることはいたしません。

患者さんのデータを使用してほしい場合、その他、本研究に関して質問などがありましたら、主治医または以下の研究責任者までお申し出ください。

【研究責任者】

〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘1-1

大分大学医学部附属病院看護部 看護師 配属：5階新病棟 一万田 菜美子

(いちまんだなみこ)

電話番号 097-586-6915